

秋保小・馬場小 統合準備委員会 ニュース

令和8年3月27日

仙台市教育局学校規模適正化推進室



第8回統合準備委員会を開催しました

令和8年1月21日(水)に、『第8回 秋保小学校・馬場小学校統合準備委員会 兼 校舎跡施設利活用検討分科会』を秋保中学校で開催しました。

統合準備委員会では秋保小学校新校舎に関する説明を行い、校舎跡施設利活用検討分科会ではこれまでの協議の振り返りを行うほか利活用の方向性、今後の進め方について説明しました。



秋保小学校新校舎について

秋保小学校新校舎の外観・内装や建築スケジュール等について説明しました。

【新校舎の外観・内装】

- 「秋保の田植踊」で使用する扇子のモチーフを、外壁・内装のデザインに活用します。教室等の入り口に、階ごとに色を変えた扇子のモチーフを設置します。
- 普通教室の床は木材のフローリング、壁の下半分は木目調にし、温かみを感じる環境の中で、児童が学校生活を送ります。
- 冷気や雨雪等の校舎内への侵入を防ぐため、1階昇降口に風除室を設置します。
- 1階の図書室に、大きな柱を利用して、秋保の森林をイメージした大木風の本棚を配置します。
- 1階のメモリアルスペースに、秋保地域で産出される秋保石を使った飾り棚を設置します。



【秋保新校舎完成イメージ】

【建築スケジュール】

- 令和9年4月の新学期開始に合わせて新校舎が供用開始となるよう、工事を進めてまいります。

【主な質疑応答】

問 秋保地域には様々な地域資源があるが、新校舎に扇子のモチーフを用いた理由は何か。

答 長袋・馬場・湯元で受け継がれている「秋保の田植踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、踊りで使用する扇子が秋保を象徴するものの一つであるとして、新校舎のモチーフに使用しました。また、秋保中学校から見える新校舎の外壁に、秋保大滝をモチーフとした模様も設置する予定です。

